

浜脇中学校

七転び八起き 夢へとつながる next story ～花開くまで～

浜脇中学校として、例年通りの日程で準備がはじまった5日間開催のトライやる・ウィークでした。事業所は、地域自治会長様、各種団体会長様、PTA様などのお力添えもあり、96を超える事業所にご協力いただき、無事に活動を終わることができました。ただ近隣中学校と、日程が重なるなど苦慮したところもありました。また、2日目においては警報発令により活動休止となってしまいました。定休日等の対応は、事業所同士を組み合わせました。他にも専門学校や神戸地検、地域講座、兵庫県NIE推進協議会にもお世話になり、充実した活動をさせていただきました。生徒の心の変容は、家庭での発言や行動で見られたようで、多くの感想にあらわれていました。今後も地域社会の一員として、「住み続けられるまちづくり」をテーマに、進取果敢に過ごしていきたいと思えます。



大社中学校

新しい自分と出会った1週間

トライやる・ウィークが本格的に5日間の実施となって2年目。生徒たちはトライやる・ウィークがどういうものか、想像が付きにくいなかでの、5日間。アンケートの中でも、ほとんどの生徒が「新しい自分を見つけることができた」「もっと責任感をもつことが重要」というコメントを書いてくれました。ほかにも「周りを見て行動できる人になりたい」「人を助けられる人になりたい」など、成長を感じさせるコメントが多くありました。生徒たちは学校では学べない多くのことを学べたと思います。事業所の方々に心から感謝申し上げます。



苦楽園中学校

かすみそう ～未来につむぐヒストリー～

残念ながら1日警報のため、4日間になってしまいましたが、各事業所で有意義な時間を過ごすことができました。最初は緊張や不安で思うようにできなかった活動が、日を追うごとに積極的に取り組むようになり、様々なアイデアを出したり、手慣れた様子で活動したりと日々成長する姿に、事業所の方々も感心されていました。どの事業所でも、地域の方々に声をかけていただき、温かく見守られながら生き生きと活動することができました。

未来に向けて一歩踏み出した51期生。生徒の新たな一面が見られ、充実したトライやる・ウィークでした。



上ヶ原中学校

トライやる・ウィーク 上ヶ原中学校 「ゆげ焙煎所」

5月13日～17日、上ヶ原中学校2年生の生徒たちが、トライやる・ウィークに行きました。「ゆげ焙煎所」様にお世話になった2名は、5日間を通してコミュニケーションの大切さや、自分の思いを人に伝えることの難しさを学ぶことができました。教育委員会へコーヒーの出張販売に出向した際には、温かく見守っていただきました。また、最終日には店舗の外で通りががりの方々へ自分たちから「こんにちは」と声をかけ、コーヒーのテイスティングに立ち止まってもらうこともできました。お客様から励ましの言葉をいただいたりする中で、2人とも人の温かさに触れ、仕事のやりがいや達成感を味わうことができました。「将来は自分のお店を開きたい」と夢も大きく膨らみました。



甲陵中学校

一歩一歩広がる未来へと
～地域と共に新たな挑戦～

生徒に常に意識させてきた『地域と共に』を多く感じた5日間でした。日毎に違う生徒を受け入れて下さった事業所、道に迷う生徒を送り届けて下さった地域の方、巡回や業務連絡に携わっていただいた推進委員の方など、地域に支えられていることをリアルに実感することができました。

地域との繋がり、リアルな仕事体験、未知の世界に触れるなど様々な刺激を通して新たな自分を発見することができ、自分らしい生き方を考えるきっかけになったと思います。関わりをもっていただいた全ての方々に感謝申し上げます。



平木中学校

社会のバトンをつなぐ ～大人への第一歩～ 「はたらく」とは「かたわら」を「らく」にすること

平木中学校では事前学習として福祉体験講座を1年次に実施している。今年で10年目になるこの取り組みは福祉現場で活躍されている方の講話や高齢者疑似体験等から、福祉の仕事や働くことを身近に感じさせるというねらいがある。今年度、ある事業所の方から「中学生が福祉施設で活動することを否定的に捉えている利用者様がおられたが、平木中生の前向きな姿を目にされ、心を改められておられた」というお話を伺った。昨年の講話で「働くとは『傍ら』を『楽にする』こと」という言葉をいただいたが、生徒たちはそれぞれの事業所で地域の方々に支えられながら学びを深められたと考える。



甲武中学校

「あいさつ・笑顔・感謝」のトライやる・ウィーク

意気揚々とトライやる・ウィークを迎えた甲武中学校第2学年321名。それぞれの事業所で不安と緊張はあるものの、元気の良い挨拶と笑顔を前面に出した活動を行うことができました。活動期間中、気象警報により1日中止になり、実質4日間の活動でしたが、各事業所や地域の方と進んでコミュニケーションをとり、たった4日間とは思えないほどの人間関係を築くことができました。事業所・地域の方々からも励ましの言葉をもらい、生徒たちは実り多い時間を過ごすことができました。



瓦木中学校

トライやる・ウィークを終えて

多くの生徒たちにとって、トライやる・ウィークには、少し不安もあったようですが、その反面とても楽しみにもしていました。地域の方々にも、とてもよくしていただき、事業所様からのアンケートでも、お褒めの言葉をたくさんいただきました。生徒たちにとって、この経験で「自分にもこんなことが出来るんだ」「やってみてよかった」という声を聞いております。将来自立して生活していく自信につながるのではないかと思います。今の生徒たちにとって、親の仕事を手伝ったり、地域の大人と交流を持つことが少なくなっている中で、このような経験が、生きる力になるのではないかと感じています。

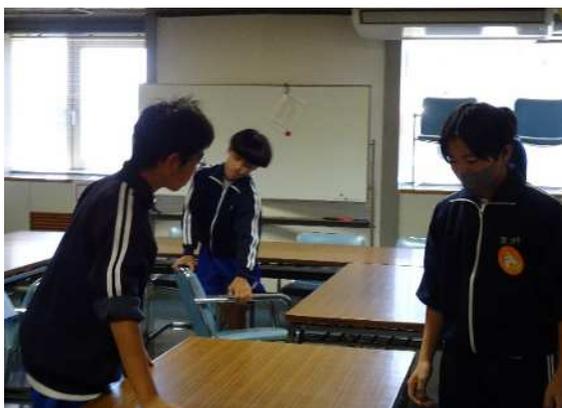


深津中学校

My new story 未来のためにトライやる！

トライやる・ウィークでの活動を通して、地域とのつながりを実感するとともに、自分や仲間の新しい一面に気づき、成長する生徒の姿がたくさん見られました。地域の一員として社会体験をするなかで、普段の学校生活だけでは見えない周囲の人たちの支えやあたたかさに触れ、感謝の気持ちを高めていました。

「仲間のことを思いやり、仲間のために動くこと」この活動を通じて培った力を、今後の学校生活や家庭、地域のみなさんに向けて発揮してほしいと思います。



上甲子園中学校

未来へつなぐ全力疾走！

昨年度11月に第1回推進委員会を開催、12月より事業所への来年度の受け入れ依頼が始まりました。推進委員の地域の皆様が事業所を訪れ、直接依頼をしていただいています。5日間の活動では、このような取り組みのつながりを十分に感じられる光景がたくさんありました。

生徒たちの頑張りに対する評価の言葉や、足りないことへの励ましの言葉によって、普段の学校生活では見られない表情がたくさん見られました。トライやる・ウィークを通して学んだことを、今後の学校生活に生かしてくれることを期待しています。



今津中学校

夢描こう！地域へ、未来へトライやる

昨年度より40人（1クラス分）の生徒数増となり、受入先事業所の新規開拓にあたっては、推進委員会やPTAの方々に大変お世話になりました。それぞれの受入先では、生徒たちにより多くの「挑戦」や「学び」が実感できるようにと、細やかな活動プログラムの作成、興味関心を引き出す活動内容などを数多く準備していただきました。今津地区はもとより、山口船坂地区での農作業体験、今津小、瓦木中学校校舎建設現場の見学、ドローン操縦の体験など、生活の衣食住に関わることではあっても実体験の乏しい活動に触れることができたことはたいへん意義のあることでした。

生徒たちが自分の「夢」を描き、ふるさと西宮・今津に誇りを持ち、これから先の学校生活、さらに生き方にまでつなげられるトライやるになったと実感しています。



真砂中学校

Step by step ! ～新しい自分への第一歩～

今年度のトライやる・ウィークは、5日間を74か所の事業所で体験させていただきました。事前学習の段階から、あいさつや返事を通じた人と関わる際のマナー・礼儀、そして何ができるかを自ら考え、行動に移していく「社会体験」の大切さを学びました。

活動期間は指導ボランティアの方々の熱心なご指導のおかげで、まさしく「新しい自分への第一歩」となる素敵な5日間を送ることができました。

今後もさらに地域とのつながり、そして自分自身を大切にして、ますます成長をとげる41期生であってほしいと願っています。



鳴尾中学校

鳴尾地区に暮らす私たちの今、昔、そしてこれから

鳴尾中学校の「トライやる・ウィーク」では、自治会や宮っ子・鳴尾版編集委員の方々にお世話になり、地域の中での活動に直に触れる機会をいただいています。

今回も、宮っ子の編集会議に参加し、中学生ならではの意見を取り上げていただいたり、記事の文章を考えたりしました。自治会活動では、義民碑を訪れ、水に苦勞をした先人に思いを馳せ、今、私たちが豊かに安心して鳴尾地区で暮らせることへの感謝の気持ちをもつことができました。

5月下旬とはいえ暑い日でしたが、熱心にご指導いただいたことは、今後の学校生活や将来につながる貴重な体験でした。



浜甲子園中学校

地域のやさしさに触れて

推進委員の方々のご尽力により、今年度は新たに五つの事業所が加わり、活動の輪が広がりました。生き生き活動する生徒たちの様子から、事業所の方々が丁寧に接して下さったことを実感しました。このトライやる・ウィークは地域の方々の支えで成り立っているのだと、改めて感謝の気持ちで一杯です。

事業所の一つである「まちcafeなごみ」では、「鳴尾老人福祉センター」と連携し、生徒と地域の方々の交流の場を作っていました。この体験を通して、生徒たちは地域のあたたかさに触れることができました。また、地域貢献の大切さを学ぶ機会にもなりました。



鳴尾南中学校

未来へ ～踏み出せ！夢への一歩～

昨年度からコロナ以前のかたちにはほぼ戻ったトライやる・ウィークの活動。今年度の活動に向け、数ヶ月前から推進委員会を実施し、PTAや地域の方々に支えられながら準備を行ってきた。警報での中止もあり4日間の活動となったが、普段の学校生活とは違う体験に目を輝かせ、前向きに体験に取り組む姿や、巡回に来た教師に笑顔で挨拶をする生徒の姿に改めてトライやる・ウィークの持つ意義を感じることができた。多くの方に支えられながら生徒が成長していく姿を見守ることができるこの活動を、今後も地域で大切にしていきたい。



高須中学校

地域の中でSTEP UP

本年度は、コロナ禍で受け入れを中止されていた事業所や新規の事業所の受け入れもあり、昨年度より多くの事業所にご協力いただきました。指導ボランティアの方からは、「明るく元気に取り組んでいる」「しっかりとあいさつができています」などのお言葉をいただきました。また、「ぜひ、ここで働いて欲しい」と言われた生徒もあり、地域の方々の温かいご支援の中で、生き生きと活動することができました。生徒たちからは、「あいさつ」や「礼儀」など今回の活動で学んだことを、これからの生活にかاشていきたいという声が多く聞かれました。



学文中学校

地域・事業所の支えに感謝

「挑戦—開こう！未来への扉—」をスローガンに掲げ、実行委員を中心に準備してきました。活動期間中、様々な仕事に挑戦する中で、働くことの楽しさや厳しさ、コミュニケーションの大切さなどを実感し、成長して帰ってきました。各事業所と社会福祉協議会、本校緑化ボランティアの皆様にお世話になり、生徒一人ひとりに臨機応変にご対応いただきました。また、推進委員会にも準備の段階から本校の活動を支えていただきました。出発式や報告会においても事業所ならびに推進委員の皆様にご温かく見守っていただき、本当に感謝しかありません。



山口中学校

Step up with Smile～ひろげよう地域の輪～

昨年度に引き続き、5日間の活動を行うことができた山口中学校区トライやる・ウィーク。今年度は推進委員会の活動もコロナ禍以前のように戻り、開始当初からお世話になっている事業所も含めて、たくさんの地域の方や保護者の方、事業所の方に見守られて5日間の活動を迎えることができました。生徒たちは5日間の体験活動を通して、「ルールやマナー、働くことの大切さを学んだ」「チームワークやコミュニケーションの大切さが分かった」「農家さんの仕事の大変さや、作業が終わった後の達成感、食の大切さが知れた」等、たくさんのことが学べたのと、今回の経験を活かして、たくさんの人たちとふれあう中で、自分たちがいろいろな人に支えられて成長してきたことに気がつくことができました。



塩瀬中学校

確かな成長を感じられたトライやる・ウィーク

塩瀬中学校は、東は宝塚、西は神戸市北区まで地域を拡大し、数多くの事業所および指導ボランティアの方のご協力のもと、5日間の体験活動を行うことができた。

事業所の方々や地域の方々との関わりの中で、自分から積極的にコミュニケーションをとろうとする姿勢が、多くの生徒から見られるようになった。また、活動を通して、「多くの人に自分が支えられていること」を感じ、身近な人への感謝の気持ちが芽生えた生徒も見られた。



総合教育センター附属西宮浜義務教育学校

For The Future ～大人への第一歩～

本校4期生は「For The Future ～大人への第一歩～」のスローガンのもと、それぞれの事業所で一生懸命活動に励みました。

その中で、今年度も甲子園球場の芝生管理でも有名な「阪神園芸」にお世話になりました。午前中は芝生の手入れの仕方について講義を聞き、午後からは校内の芝生の手入れを行いました。重機を操作したり、シャベルを使って土入れをしたりと、想像していた以上に大変な作業でした。しかし、作業が終わった後、生徒たちからは「やりがいがあった」「とても楽しかった」という感想をたくさん聞きました。今回の経験で、美しく見えるものの陰では、大変な苦勞をしてそれを維持管理しておられる方がいるということを感じることができたと思います。



西宮支援学校

地域に密着した5日間の体験

学校の周りにある施設や西宮市立中央図書館で、西宮の良いところを探しながらの体験となりました。西宮東郵便局では、普段家に届いている手紙や郵便物がどのように郵送されているのかを学びました。更に、郵便物の仕分け作業にも挑戦。自分たちの得意な動きや方法で、郵便物を仕分けしていき、仕事をする体験と完成させる達成感を味わいました。西宮市立中央図書館では、本を借りるといふ施設利用の体験をしました。大量にある本の中から興味のある本を選び受付で借り、学校に戻ってすぐに借りてきた本を読みました。最後に庁内便を利用して本の返却を体験し、西宮市の便利さを感じることができました。西宮市の一員として、貢献したりサービスを受けたりと普段味わえない経験ができた5日間でした。

